

■ 本マニュアルでは、お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防ぐため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
お願い	「必ず行なっていたく事」を示しています。

■ 施工時の「お願い」

住宅防火戸として使用（施工）する場合は、シャッターボックスの裏側に外壁の屋外側の防火被覆又は軒裏の防火被覆（シャッターボックスを軒裏に収める場合）と同等以上の防火性能を有する防火被覆を設けてください。

■ 本製品の明細は以下の通りです。

上枠、下枠、屋根、右縦枠、左縦枠、ビスセット、仕上材（MDF）、シールテープ（仕上材にくくり付け）	目板 化粧カバー・化粧カバー下地材
---	----------------------

■ その他の梱包

シャッター本体
本体カバー
ガイドレール

ビスセット明細

組立ビス 4x25バインド（色付）	枠取付ビス 4.1x75丸木
ビスキャップ	化粧カバーコーナーピース
支持板固定ビス 4.1x75丸木（色付）	目板取付釘 2.1x25
下枠（上段）取付ビス 4.1x75丸木（色付）	組立施工マニュアル
水密ワッシャー	

部品セット明細

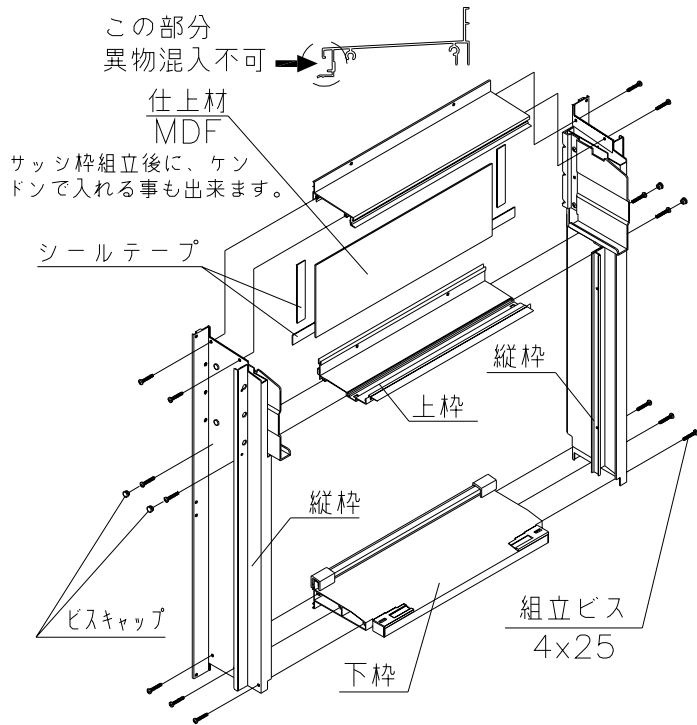
位置決め部品 x2個	位置決め部品取付ビス x4本
シリコンチューブ（信越シリコン：KE45）	

1 ユニット枠の組立

同梱のビスセット内のビスで確実に組み立ててください

お願い

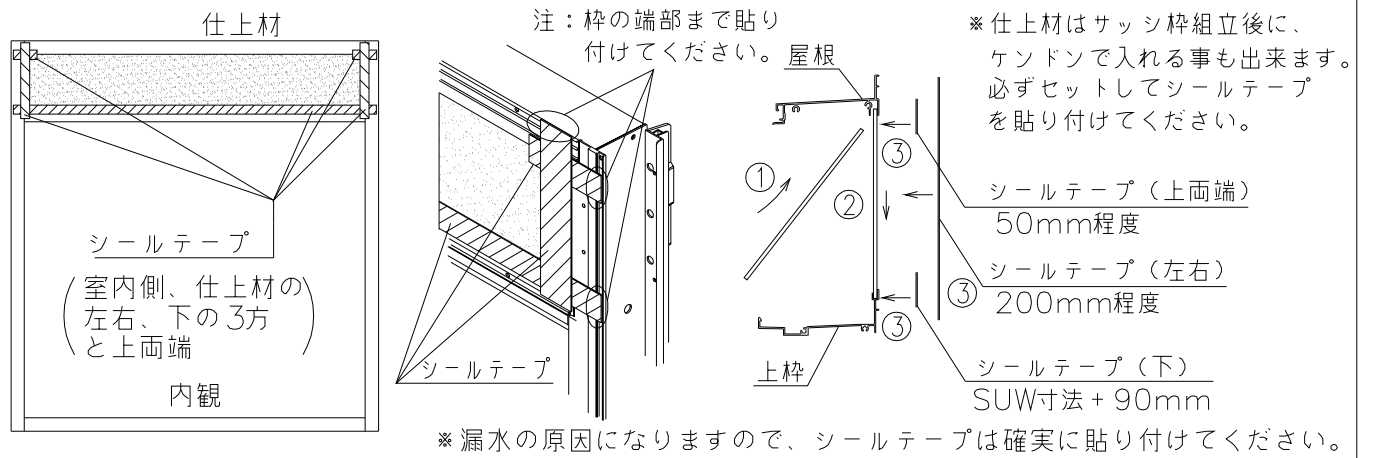
下図の○部にモルタルなどが詰まると、本体カバーが取付できなくなる可能性が有りますので、注意してください。



2 シールテープの貼りつけ

お願い

アルミサッシ枠を木枠に取り付ける前に必ず屋根と上枠との間に仕上材をセットして、付属のシールテープを左右、下の3方と上両端に適切な長さに切り、（左右用：200mm程度、下用：SUW寸法+90mm 上両端：50mm程度）サッシ枠の裏側から仕上材とアルミ部材との境目を隠すように貼りつけてください。

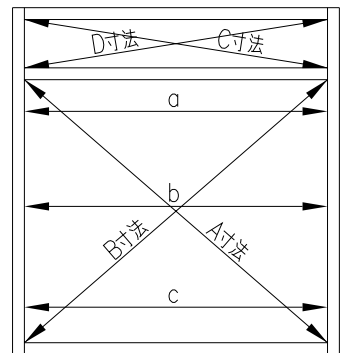


お願い

ビス位置に躯体があるか確認してください。躯体がない場合は取付できません。

枠を仮止めし、下記事項を必ず確認ください。

1. 対角寸法A、B差およびC、D差を、3mm以内にしてください。
2. 下枠の取付は必ず水準器をあて、水平にしてください。
3. 枠の内法巾、a、b、cの差を、1.5mm以内にしてください。



サッシ枠の水平、対角および枠の内法巾が正確に出ていない場合、シャッターの作動不良の原因となりますので特に注意してください。

3 位置決め部品の取付 → 目板（室外パネル）の取付 → ユニット枠の位置決め（先付けタイプ）

手順① ユニット枠の外形ラインを、躯体に引く。（下：46、縦：80又は81）・・・位置決めのため

手順② 位置決め部品の、全開口サッシ下枠から46mmの位置にビス固定する。（両端）

手順③ 目板を、全開口サッシ縦枠から50mmの位置に釘固定する。（左右目板）

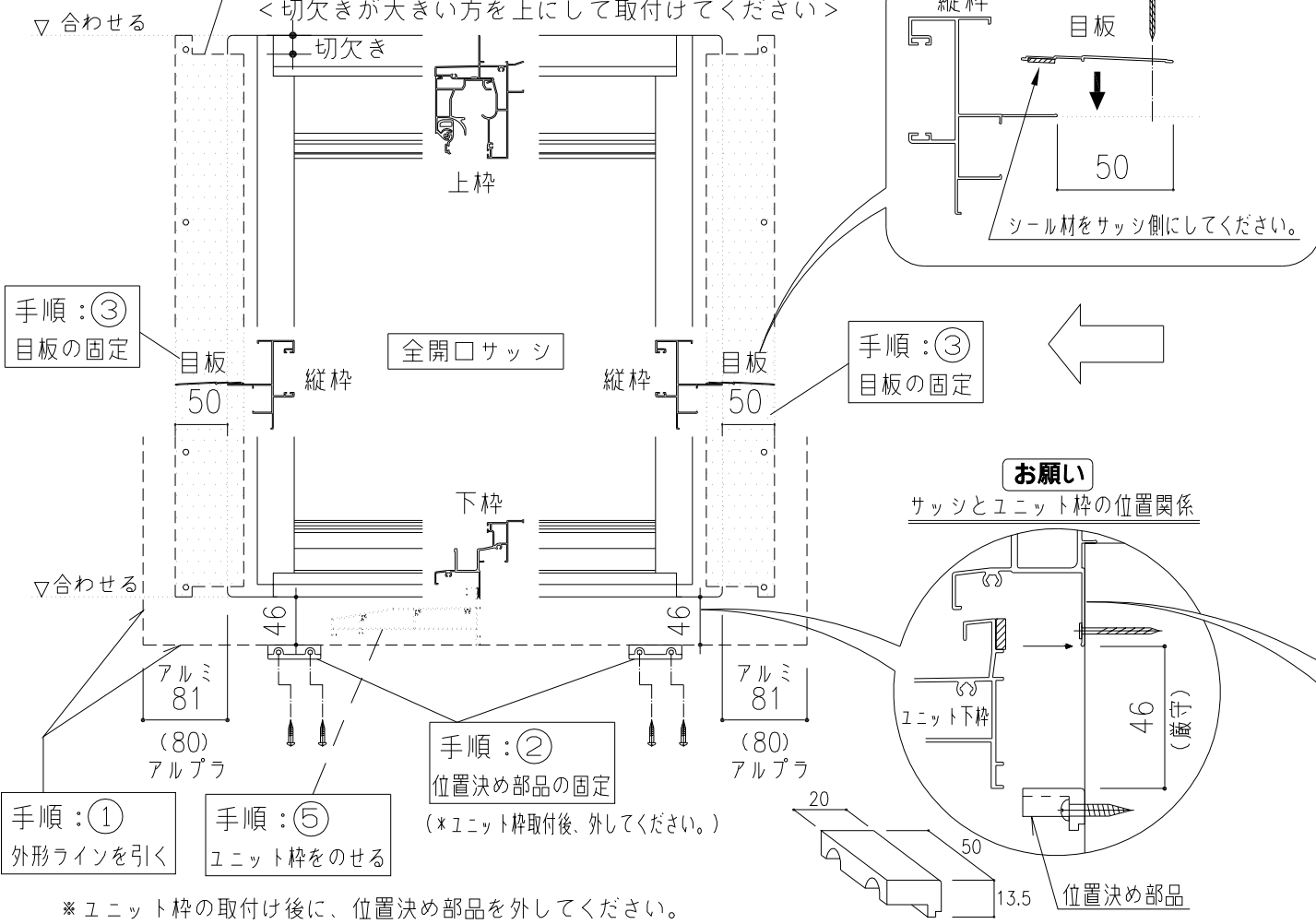
手順④ サッシ下枠両端に、コーキング処理をする。

手順⑤ ユニット枠の下枠を、位置決め部品の上のせる。

手順⑥ ユニット枠の左右チリを均等にしてから、ビス止めを行う。（コーナー部4ヶ所）

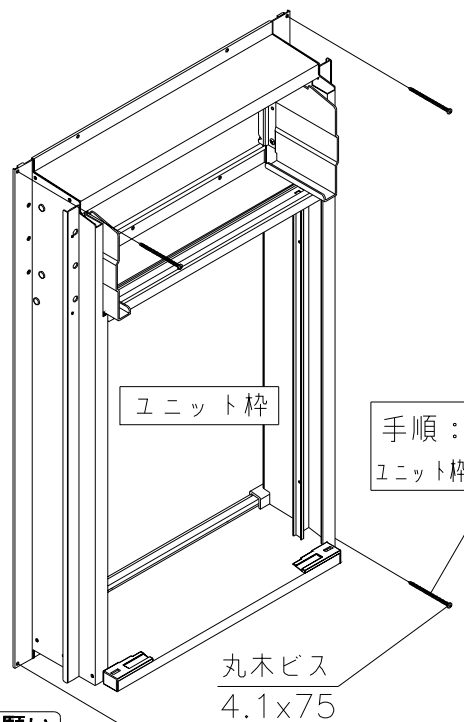
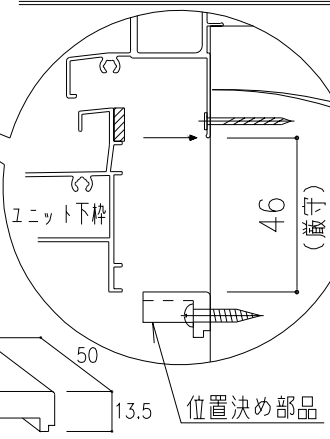
お願い

目板には、左右部材（勝手）があります。<切欠き大きい方を上にして取付けてください>



お願い

サッシとユニット枠の位置関係



お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けてください。

手順④ コーキング

お願い

ユニット枠取付前にサッシ下部両端の左図部に、コーキングを行ってください。

※漏水の原因になりますので、確実にコーキングを行ってください。
※信越シリコン（KE45）：BC-3337が同梱されています。

4 ユニット枠の取付 ①-1 (先付けタイプ)

右図の要領で、同梱のビスで確実に取付してください。

※本部位は色付のビスを使用。

取付時の注意

お願い

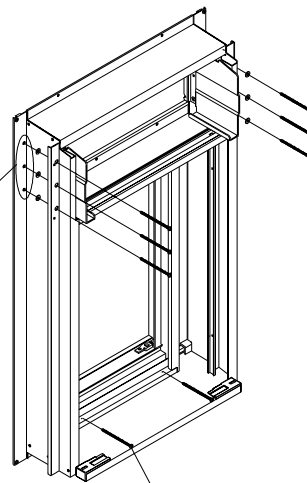
このビスはシャッター本体支持金具の固定を兼ねています。必ずビス止めしてください。

水密ワッシャー

シャッター本体支持金具

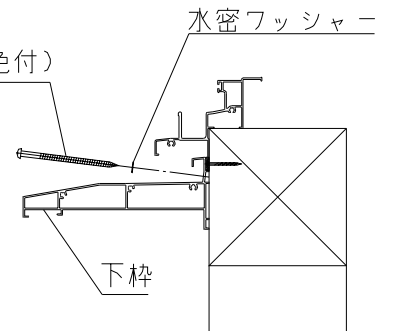
注意シール

丸木ビス (色付)
4.1×75



右図参照

丸木ビス (色付)
4.1×75



お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けコーキング材を充て込んで下さい。水密ワッシャーは必ず使用してください。

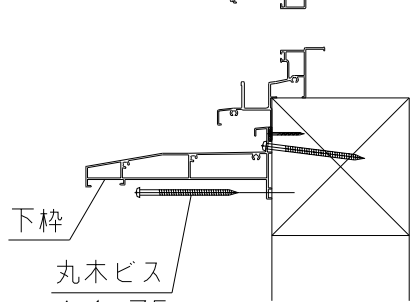
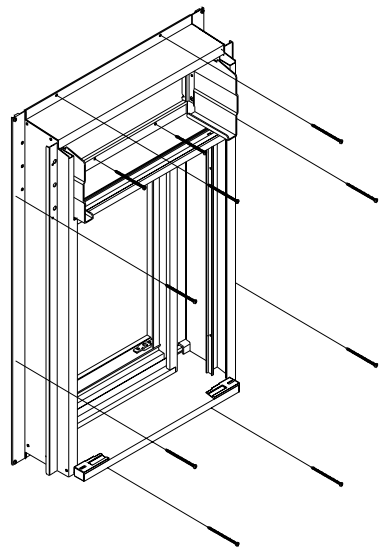
5 ユニット枠の取付 ①-2 (先付けタイプ)

右図の様にビス止めしてください。

丸木ビス
4.1×75

屋根

上枠



丸木ビス
4.1×75

丸木ビス
4.1×75

縦枠

目板

お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けてください。

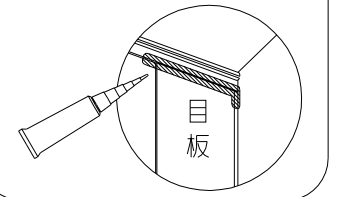
6 雨仕舞いコーキング (先付けタイプ)

お願い ユニット枠取付後、目板の上下端にコーキングしてください。

目板 上端

お願い

取付後に両端の図示部分にコーキングしてください。

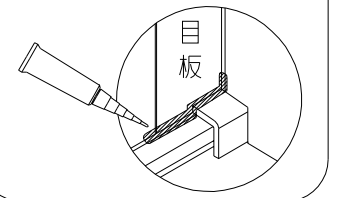


※信越シリコン (KE45) BC-3337が同梱されています。

目板 下端

お願い

取付後に両端の図示部分にコーキングしてください。



※漏水の原因になりますので、確実にコーキングを行ってください。

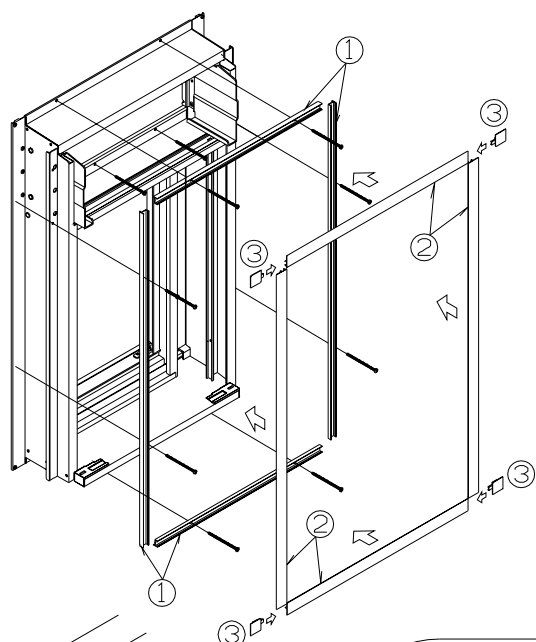
7 ユニット枠の取付 ② (壁付けタイプ)

枠の孔位置に合せ右図の様に化粧カバー下地材①をビス止めしてください。

次に化粧カバー②を上下又は左右均等にふり分けてはめ込んでください。その後、四すみにコーナーピース③を下図の様に差し込んでください。

お願い

取付ビスを付ける前に必ず下孔を明けコーキング材を充て込んでください。



化粧カバー下地材①

化粧カバー②

屋根

上枠

丸木ビス
4.1×75

下枠

化粧カバー②

化粧カバー下地材①

約2mm

丸木ビス
4.1×75

化粧カバー②

化粧カバー下地材①

左右均等割振り

縦枠

注) 壁付けタイプの場合は、目板は必要ありません。

化粧カバーコーナーピース③

お願い

最後に上と縦の3方をコーキングしてください。

※漏水の原因になりますので、確実にコーキングを行ってください。

